

い。

一七、特種地形ノ行動

熱帶地には竹林、ジャングル、甘蔗畑等が多いが其の内の一般行動は森林内との同様であつて瓦斯警戒、火災豫防等に注意する外、布で頬被りし手袋をはめて棘を避ける事が必要である。

以下特別に注意を必要とする點を述べる。

1. 竹林内の行動

竹林は内地のと違つて一株から數本乃至數十本宛群生し枝には棘があり株の内に踏込む事は出来ないものが多い。竹林を通る時には竹林の疎な間を通り下枝を切り落し又は竹幹を切斷して肉の白い部分を道標にしながら進む。竹林を正面から攻撃する場合は成るべく竹林の間隙から突入するがよい。竹林を利用して防禦する時は之を障礙物とし又は遮蔽に使ふのに有利であるが

特種地形の行動

六五

11

0366

敵の弾丸が竹に中つて凄しい音を發し兵に厭な感じを與へる不利ある事を考へねばならぬ。

2. ジャングル内の行動

ジャングルとは雜木、雜草、荆等が十重、二十重に絡み合つて居る密林をいび、猛獸、毒蛇、害蟲の棲家であつて軍隊の通過は極めて困難であるから之を通過する時には特別の作業隊を作る必要がある。併し此の様な地形は弱い西洋人には不向であるから其の裏をかく爲屢、之を突破しなければならぬ。準備して断行すれば大丈夫だ唯方向の維持と水の補給が何より必要である。

3. 甘蔗畑内の行動

甘蔗畑内を行動する時には満洲の高粱畑通過と同様特に方向維持に注意を拂はねばならぬ。之が爲には斥候を出して進路を標示し梯子を携行し或は樹

の上から観察して誘導し又は磁石をつかふのがよい。

攻撃の際は之を利用して局部的に敵を包囲又は迂回する機會がある。

防禦の時は甘蔗を四〇種から八〇種程の高さで縦横無茶苦茶に折り鐵線を繩で結び合ふと相當な障礙物に利用出来る。

4. 濕地及水田内の行動

佛印や泰國は日本に次いで米の出来る國であつて水田は到る所にあり又大きな濕地も所々にある。之を通過する時には各人櫻(カンデキ)と杖を用ひ重火器は櫻に乗せ或は甘蔗穀や藁や簍子(スノコ)で掩護通過をする事が多い。櫻をはいて前進する時は踏み着けの時間を出来るだけ少くして櫻を泥の中に突き込まないやうにし若し泥の中に深く入つたら杖によつて體重を支へ片足宛徐々に抜く。成るべく草又は稻株の位置か又は乾いた所を選んで通るとよい。野、山砲は濕地の程度小なる場合は車輪に履帶をかけねば臂力で通る事が出来る。

特種地形の行動